

報道関係各位【ご案内】

2011年7月13日
社団法人 日本分析機器工業会

製薬関連分野の方々のご参加をお待ちします
——薬局方改正 分析展 2011/科学機器展 2011 合同展 特別セミナー——

社団法人 日本分析機器工業会(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-10-1 電話 03-3292-0642 会長 服部 重彦=(株)島津製作所代表取締役会長)と日本科学機器団体連合会(〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-8-5 電話 03-3661-5131 会長 矢澤英人(株)ダルトン 代表取締役社長)が主催する分析展 2011/科学機器展 2011 合同展は9月7日(水)から9月9日(金)まで、幕張メッセ5、6、7、8の4ホールを使用して開催します。

キャッチフレーズは「来て、見て、わかる 確かな技術」。(10時から17時、入場無料)この合同展の事前入場登録が7月1日(金)からWEB上(<http://www.jaimasis.jp/>)で開始されています。

9月8日(木)、13時より16時30分にわたり、幕張メッセ国際会議場コンベンションホールAにて、「日本薬局方の意義と役割」をメインテーマとして4つの講演が行われます。聴講は無料、定員は200名(お申し込み先着順)、7月22日(金)(予定)にWEB上で受付開始をします。

これは、私たちの健康に欠くことのできない医薬品における品質などを適性に維持し、安全で安心な国民生活をおくれるよう厚生労働省が行っている一種の情報公開書です。この日本薬局方が5年ぶりに大きく見直され、5項目の柱を基に作成されました。この中には欧米で使われていて、日本で未承認物の導入や、海外で活用されていて日本で用いられていない試験方法の導入等非常に興味深い内容が含まれています。この様な内容から、本改正は製薬関連企業、分析機器関連企業をはじめ多くの分野で注目を集めています。これを機会に、日本薬局方に関し、改めてご理解を深めていただく場として本セミナーを企画しました。

薬局方とは何か、今回の改正で何が変わったかを中心に、改正に関わった、第一人者の先生方にお話をいただきます。ご講演いただく先生方は次の通りです。

「第16改正と今後の方向」: 医薬品医療機器総合機構 丸山良亮先生、「国際調和と各国の動向」: 医薬品医療機器総合機構 高山一成先生、「化学試験法委員会における話題」: 国立医薬品食品衛生研究所・四方田千佳子先生、「物性試験法における話題」: 静岡県立大学 坂井 茂先生。です。

講演内容は実務担当者に直接役に立つものと確信しています。多くの製薬関連分野等の方々のご参加をお待ちしています。

聴講希望者は事前入場登録ならびに特別セミナー聴講申込をWEB(7月22日(金)WEB上で受付開始予定)にて行って、ご来場いただきますようお願い致します。

分析展 2011/科学機器展 2011 は、分析計測に関するアジア最大規模の展示会であり、最新の製品情報のみならず、最先端の学術的、技術的な情報も提示される世界有数の総合展です。震災後の産業・経済復興を目指し、主催者としてご来場者にも、出展企業にもご満足いただけるよう努力してまいります。

【お問い合わせ先】

● (社)日本分析機器工業会

2011 合同展事務局 事務局長 濱崎(はまざき)/小川(おがわ)

電話(03)3292-0642 まで、ご遠慮なくお問い合わせください。